

平成31年 3月 5日～ 7日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	8 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 離島政策について</p> <p>総務民生常任委員会で広島県三原市を視察した。同市の離島事業に学ぶべき点も多い。そこで以下の諸点について基本姿勢を問う。</p> <p>①救急艇の必要性の認識はどうか。 ②地域コミュニティ交通と高齢者、介護事業者支援対策はどうか。</p> <p><市長、消防長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	8 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 子どもの貧困計画について</p> <p>鳥羽の子どもたちの深刻な貧困実態が判明し、市は「鳥羽市子どもの貧困対策計画」の策定中であるが、そこで以下の諸点についてきく。</p> <p>①「鳥羽市子どもの生活に関するアンケート調査結果報告書」で判明した実態はどのようなものか。</p> <p>②6年後の計画終了時に子どもの貧困を現状からどこまで解決するのか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	8 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 漁業法改定による市漁業への影響について</p> <p>政府は漁業法改定案を閣議決定した。漁業権の地元漁民優先規定廃止など重大な改変となった。鳥羽市への影響について所見を問う。</p> <p>①漁業法改定の中心点はなにか。 ②鳥羽市への危惧と対策はどうか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	3 番	氏 名	河 村 孝
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ インバウンドの更なる誘客対策について</p> <p>インバウンドについては、特に伊勢志摩サミットの開催が決定された平成27年から年々増加傾向にあり、平成29年には初めて年間10万人を超えるインバウンドの方々が鳥羽市にお越しにいただいた。国内人口が減少していく中、あるいは国内の様々な観光施設の増加や観光ニーズが多様化している現在、鳥羽市の観光産業を活性化するためには、更にインバウンドを強化していく必要がある。そこで、以下の諸点についてきく。</p> <p>①インバウンドの現状とこれまでの取り組み実績について。 ②これまでの取り組みにおける実績結果の分析と評価について。 ③ターゲット国と鳥羽市観光のキラコンテンツについて。 ④今後のインバウンド対策の具体策について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	3 番	氏 名	河 村 孝
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ ガバメントクラウドファンディング（GCF）の有効活用について</p> <p> 昨年の12月18日にふるさとチョイスがふるさと納税制度を活用して行うクラウドファンディングに、海女が将来にわたり操業できるよう、海女道具の補助やアワビ等の種苗放流などを実施し、海女さんを未来に残すことを目的に本市として初めてプロジェクトを立ち上げた。そこで、以下の諸点についてきく。</p> <p>①目標金額を200万円としているが現在の寄付金額の状況について。</p> <p>②本市と類似している他市のプロジェクトについて。</p> <p>③寄付金額の実績における評価について。</p> <p>④プロジェクト応募の情報発信の手法について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	3 番	氏 名	河 村 孝
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 海の博物館での体験メニューを活用した更なる誘客策について</p> <p>平成29年10月3日に鳥羽市に移管し、鳥羽市立海の博物館に改称して東海水産科学協会に指定管理者制度を導入して運営を行うなど、市立化から1年と5カ月になる。そこで、以下の諸点についてきく。</p> <p>①市立化からの来場者数及び収支実績について。 ②体験メニューの取り組み実績について。 ③体験メニューの従来との取り組みの変化について。 ④海の博物館における体験メニューの更なる充実について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	4 番	氏 名	山 本 哲 也
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市長公約の進捗について</p> <p>市長就任以来、1年半以上が経過した。「RENOVATION TOBA 鳥羽を再び新しく」を市政のテーマとし、6つの柱となる政策を掲げた。</p> <p>手ごたえを掴んだもの、そうでないもの、道半ばのものもまだまだあるかと思うが、自身でどのように評価しているのか。</p> <p>また、残りの任期2年と少しでこれら実現のために、どのような政治手法や施策で取り組み、公約を果たすのかきく。</p> <p><市長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	坂倉広子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ ひきこもり（社会的孤立）支援について</p> <p>仕事や学校にも行けなく、家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態を「ひきこもり」と言われている。</p> <p>国の調査では、15歳から39歳までのひきこもりの数は、全国に54万人いると推計している。また昨今では、中高年のひきこもりも多くなっており、社会との繋がりが薄く家族だけで課題を抱え込み孤立するケースがあり、「8050問題」に及ぶことも懸念されると言われている。そこで、以下の諸点についてきく。</p> <p>①ひきこもりの実態はどのような状況か。 ②対策としてどのような形で支援をしているのか。 ③今後の更なる支援策をどのように進めていくのか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	坂倉広子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ ハートフルパーキング事業の導入について</p> <p>訪問介護や訪問看護は今後さらに需要が高まっていくと予想されるが、訪問先が、住宅地にある場合、事業者にとって駐車場の確保が大きな課題となっている。</p> <p>このような中で、愛知県春日井市の「ハートフルパーキング」制度が注目されている。この制度は、医療・介護事業者等が駐車スペースのないお宅に訪問する際に、近隣の住宅等の駐車場の空いている時間をお借りして、駐車できる仕組みで、駐車スペースを確保することで、路上駐車などを防ぎ、円滑に医療・介護サービスを提供することを目的とする制度であると聞いている。そこで、以下の諸点についてきく。</p> <p>①ハートフルパーキング事業の導入の考えはないか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	木 下 順 一
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 大規模災害への対策及び事前復興計画について</p> <p>1995年に発生した神戸・淡路を中心とする阪神・淡路大震災から24年、また2011年の東北地方沿岸部で発生した東日本大震災から8年が経過しようとしている。大規模災害を経験した教訓は、時が経つにつれ低下していくと言われている。いつ発生するかわからない大規模災害に備えて、改めて防災意識の向上と更なる災害対応が必要である。そこで、以下の諸点についてきく。</p> <p>①三重県が実施した南海トラフ巨大地震による被害想定はどう予測しているか。</p> <p>②鳥羽市の防災等に関する計画は、被害想定を見越したものになっているか。</p> <p>③災害時における受援体制及びタイムラインの計画などの策定はどうなっているのか。</p> <p>④発災後の早期復興のための事前復興計画の策定の考えはあるか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	木 下 順 一
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 働き方改革推進におけるRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）導入による業務の効率化について</p> <p>平成30年7月6日に「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が公布され、本年4月1日に施行される。本法律は長時間労働抑制策・年次有給休暇取得の一部義務化、働き方改革の総合的かつ継続的な推進、時間外労働の上限規制の導入など、多くの働き方改革の柱が打ち出されている。このような中で、現在、注目されているのが業務の効率化という点でのRPAである。RPAは、パソコン操作の一部もしくは全部をソフトウェアロボットが自動化するもので、将来の労働人口の減少、長時間労働の是正など、仕事の効率化の観点から、先進自治体では実証実験や導入が進んでいる。そこで、次の諸点についてきく。</p> <p>①本法律の施行に伴って自治体事務への影響をどのように考えているか。</p> <p>②本市の時間外勤務時間数とその手当額の総額はいくらか。</p> <p>③業務の効率化を図るための改善に取り組んでいるか。</p> <p>④RPAについてどのような認識を持っているか。</p> <p>⑤他市町の自治体におけるRPA導入事例について調査したことはあるか。</p> <p>⑥本市における導入の可能性はどうか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	6 番	氏 名	井 村 行 夫
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 答志島島民の悲願である答志島架橋の促進について</p> <p>伊勢湾口道路構想が立ち消えになったことを受け、平成19年度から答志島架橋建設に向けて、答志島3町で組織する答志島架橋建設促進協議会が設立され、今日まで様々な活動を行い、その必要性等を訴え続けてきている。</p> <p>答志島架橋は、島民の切望している架橋である。そこで、以下の諸点についてきく。</p> <p>①答志島架橋建設に向けての現状はどのようになっているのか。 ②市としての今後の支援をどうしていくのか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	6 番	氏 名	井 村 行 夫
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市内にあふれる空き家の対策の推進について</p> <p>全国的に空き家が問題となっているが、本市においても市内で空き家の増加が止まらないのが現状であり、防災、景観等にも影響を及ぼしている状況にある。そこで、次の諸点についてきく。</p> <p>①市内の空き家の現状をどのように認識しているか。 ②これまでの取り組みによる成果は何か。 ③今後の市としての対策をどのようにしていくのか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	6 番	氏 名	井 村 行 夫
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市の美化推進について</p> <p>市内の道路については、環境パトロールの活動によりきれいにされているが、道路の周辺や空き地なども含め、草が生い茂ったり、ゴミが散乱している箇所が見られる。国際観光文化都市として、あるいはおもてなし鳥羽として、更なる美化を推進する必要がある。そこで、次の諸点についてきく。</p> <p>①市内のごみ、生い茂る草などをどのように認識しているか。 ②今後の取り組みをどのようにしていくのか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	13番	氏名	尾崎 幹
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市長が持つ鳥羽市のビジョンについて</p> <p>市長は「リノベーション鳥羽」というテーマを掲げ、2年間政策を進めてきたが、今年は時代の節目となる年であり、これから新たな時代へと移り変わろうとしている。そこで以下の諸点についてきく。</p> <p>①新時代に対応できるグランドデザインは持っているのか。 ②行政サービスの変革に対応できるのか。 ③福祉サービスは充実しているのか。 ④地方分権に対応できているのか。 ⑤まちの自立を進めるのか。 ⑥防災に対応できるまちとなっているのか。 ⑦産業の活性化はどのように進めるのか。</p> <p><市長></p>			